

30. 「庄内西小学校こどもを守る会」への「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）6 月 16 日（木）20 時～

○場 所：庄内西小学校 本館 2 階ランチルーム

質問・意見等	豊中市からの回答
教育が変わることはいいことだと思う。だが、今の説明会は同じことを繰り返しているように思える。地域の力は人である。教育とは人をつくることである。地域から小学校が無くなれば人が離れていかないか心配である。新しい学校を作るのにお金をかけるのであれば、他の方法もあるのではないか。例えば、庄内西小校区の中だけで小中一貫教育はできないのか。井戸端会議で考えればアイデアが浮かぶのではないか。今回のような大きな会場での説明会では意見が言いにくい。実際に子どもを学校に通わせることになる当事者は今回のことについてどう考えているのか、情報収集するべきである。最初にも申し上げたが、新しい学校で良い教育をすること自体は価値のあることだと思う。	この構想は、教育委員会だけでなく、関係する市長部局、（仮称）南部コラボセンターや地域コミュニティを所管している市民協働部、通学路関係で道路整備等を所管している都市基盤部、市の認定こども園など子育て関係を所管しているこども未来部、市の総合計画やまちづくりを所管している政策企画部、都市計画推進部、歳入・歳出を所管する財務部などで庁内検討会議を立ち上げて、検討を進めています。しかし、様々な事を検討していくには時間がかかります。例えば、学校跡地をどのように利用するなど、すぐに答えが出ないようなことも多々あります。保護者、地域の方々のご意見をいただきながら、拙速に結論を出すのではなく、ご理解をいただきながら進めていきたいと考えています。
私は庄内西小学校の第一回目の卒業生である。今回の案はその立場から言うと思いは複雑である。庄内地域での人口減少の原因は、街に魅力がないからである。都市計画をもっと真剣に考えてほしい。庄内地域にて道路計画に基づいて作られた道路は元用水路が多い。過去豊中市は庄内地域の都市計画を示すものの、実現していないものがある。例えば「ペガサス計画」だが、これは、阪急神戸線の庄本駅をつくり、山手幹線を地下に通すというものだが、市は地域へ提案しておいて、そのままである。また、今回の案 1 なら、中学の部活動を考えると運動場が二つ必要なのではないか。さらに言わせてもらうと、豊中市は市民税と固定資産税の内訳を公表していない。庄内地域は人口が減少していると指摘するが、納税額や、税率の違いを地域ごとに公表するべきである。庄内地域は豊中市に貢献しているはずである。	豊中市は庄内地域の都市開発について今まで何もしていないわけではありません。昭和 40 年代以降、全国モデルとなるような災害に強いまちづくりを進めてきました。現在では、穂積菰江線や三国塚口線の整備、野田地区整備、大阪音楽大学周辺整備、木賃住宅除却補助事業などに取り組んでいます。実際に街も昔に比べれば変わってきています。教育委員会として都市計画等について、正確に答えることは難しいですが、「魅力ある学校」づくり構想は、今の教育課題を解決するために提案したものであり、丁寧な説明及び意見交換重ねながら、検討していきたいと考えています。
小中一貫教育のデメリットを教えてください。合併のタイミングで中学 2 年生、3 年生が工事によって不利益を被らないか不安である。	小中一貫教育のデメリットとしては、第一に、教職員の負担の増加が指摘されています。これまで別々であった小学校と中学校がひとつになるので、合同行事や授業等、様々な打ち合わせの時間が増えます。第二に、5、6、7 年生の中だるみが指摘されています。小中一貫教育は 6・3 制と違い、1～4 年生、5～7 年生、8～9 年生とステージを区切るケースが多く、

	最高学年は 9 年生となるため、6 年生が小学校の最高学年、という位置づけが弱まり、5～7 年生がリーダーシップをとる機会が少なくなると言われています。これを防ぐために、各ステージの最高学年、つまり 4 年、7 年、9 年をリーダーの学年と位置付けて活動させる取り組みも多くあります。小中一貫教育は手段の一つであり、デメリットもあります。しかし、学習指導面や生活指導面等で、大きな効果があると言われてるので、デメリットを最小限に抑え、メリットを最大限活かせるようにしていきたいと考えています。工事の件につきましては、工事対象の敷地から、他の学校へ移ってもらい、子どもがいない状態で工事を行うことを想定しており、工事の影響を受けないようにしたいと考えています。
今回の構想案を実現させるには、地域のハードルは高いと思う。しかし、個人的には、教育が良くなることについては賛成である。小中一貫教育の良さを説明されているが、まだ豊中では小中一貫教育を本格的に実施はなされていないことを考えると、まずは施設分離型で進めるべきではないか。今の校舎も活用できれば費用もそれほどかからず実現できるのではないか。小中一貫教育の実績を積んだ後、施設一体型を作ったほうがよいのではないか。	全国で取り組まれている小中一貫教育の内訳としては、施設一体型が 13%、施設分離型が圧倒的に多い状況です。しかし、小中一貫教育の成果がより施設一体型の方が高まるというデータがあること、また庄内地域は学校を含めた公共施設再編の気運もあることから今回のご提案に至りました。
分割校の課題を解消することを最優先にしていくべきではないか。庄内西小学校に第七中をつけてみてはどうか。庄内地域ということではとくりにしているが、庄内と庄本は同じではない。	分割校の課題は解消しなければならないと認識しています。千里地区では学校規模と分割校の課題を解消するために、東泉丘小学校等の通学区域を一部変更します。すべてを一斉に解決することはできませんが、ひとつひとつ丁寧に取り組んでいきたいと考えています。
小学校の保護者である。統合後のクラス数は多すぎるのではないか。今回案が 2 つ示されているが、第 3 の計画、例えば、小中一貫校を 3 つ作るなどの考えは無いのか。(豊中市教育委員会 HP より作成した市内小学校クラス数の資料を配布※資料として添付有)豊中市内には庄内地域の他にも小規模校はある。他の小規模校はどうするのか。今回の校区再編の結果、学校数が減少すると、防災面が手薄になるのではないか。具体的に言うと、庄内地域の人口は約 6 万人として、6 小学校 3 中学校へ、地震等の災害が起きた際、避難すれば単純計算で 1 校あたり約 6700 人となる。そこで災害発生後数日間避難し、支援物資が配給されるだろう。これが例えば小中一貫校が 2 校になってしまつと、1 校あたり約 3 万人が避難することになる、そういうことも想定できているのか。	現状、中学校は 3 校ありますが、特に第十中学校は小規模校化が進んでいます。今後さらに少子化が見込まれる中で、中学校の規模が維持できないことから、小中一貫校 3 校は難しいと考えています。豊中市内の小規模校について、庄内地域以外にも課題があることは認識しています。学校教育審議会の答申を得て、「学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」を平成 26 年（2014 年）4 月に策定しています。庄内地域以外の小規模校についても、課題解決に向けて検討に着手するべきですが、すべてを一度に解決することは難しく、基本方針に基づき、優先順位をつけ、計画的に取り組むこととしています。現在、喫緊の課題と位置付けている庄内地域を最優先に解決するべく検討をしています。防災につきましては今回の案はあくまで案であり、まだ決まったものではありません。跡地についても何も決まっていません。跡地は防災面の観点からも検討すべき事項であると認識しており、関係部局等と連携しながら検討を重ねたいと考えています。

近隣の市町村で小中一貫校を実施している学校を調べてみると、大阪市立淡路小学校、矢田小学校、新今宮小学校等が出てきた。庄内地域で小中一貫校を作ろうとしているのは、庄内地域が大阪市の小中一貫校がある地域と似ているからなのか。小学校を閉校することによって、小学校区ごとのコミュニティを弱くするためではないか。この構想案は、そう思ってしまう。	そのようなことは決してありません。
説明会の資料は誰がどのように作成したのか。説明会資料のスライド 11、庄内地域が抱える教育上の諸課題、生活・学習課題のひとつ目「規則正しい生活習慣が整いにくく、学校にこられなくなる子どもが見られる」とあるが、この書き方では読む人によっては良くない心象を与える。問題があるのではないか。	説明会の資料を作成したのは教育委員会事務局ですが、教育委員会だけでなく、関係する市長部局の部長が参加している検討会議で最終確認してもらっています。この検討会議には健康福祉部長も参画いただいております、文言等も含めて確認していただきました。しかし、気分を害される方がいたということは確認が不十分で、配慮が足りなかったと反省しています。今後、表現については細心の注意を払いたいと考えています。
要望をまとめてきた。一つ目は登下校の事である。神崎刀根山線を一方通行にしてほしい。新しい学校には教職員の手厚い人員配置をお願いしたい。具体的には、各小中学校に在籍している先生を全員新しい学校へ移してほしい。庄内西小学校はうまくいっており、今まで通りでいいと考えている。地域の思いを本当に受け止めて欲しい。今の説明内容では新しい学校に安心して子どもを通わせることはできない。	今回の説明会は構想案の周知が目的で、具体的なことがお伝えできず、申し訳ありません。可能な限り、丁寧な説明をし、ご意見をいただき、検討材料として活用していきたいと考えています。お話されたことはご意見として承りました。
以前から言っているが、拙速に話を進めるべきではない。自治会等の地元にもっと説明に来てほしい。庄内西小には庄内西小の DNA がある。歴史も含めてそこをわかっておいて欲しい。	今後も丁寧な対応を心がけていきたいと考えています。決して拙速に進めようとは考えていません。
小中一貫教育のことが取り上げられているが、小規模校、少人数学級でも学力を上げることができるはずだ。資料スライド 11 では、庄内地域が抱える教育上の諸課題について 3 つ挙げられているが、決めつけないでほしい。通学路の件もはっきりしておらず不安である。資料にあるように、数年前のワークショップに 3 回参加したが、その時は、小中一貫教育の話はしていなかったはずである。跡地の活用方法も決まっていなと言われていたが、すべてが不安材料である。	小中一貫教育については、全国で実施されており、学習指導面・生活指導面等で成果があると報告されています。もちろん小規模校には小規模校の良さがあり、それを否定するものではありません。今の段階では案であり、決まっていないことが多いです。小中一貫教育の内容や、通学路等については、2 巡目の説明会で、より具体的な内容が提示できればと考えています。ワークショップの件は、資料スライド 13 の（将来できたらいいな）のところにるように、参加者の方から出された意見の一つとして挙がっていました。
いつからこの小中一貫教育について検討を進めているのか。教育振興計画や総合計画等の中で小中一貫教育については触れられておらず、前回の市長選挙の公約にも明言されていないが、今後、どこが決められて、最終的に誰が責任をとっていくのか。	学校教育審議会の答申を受けて、平成 26 年（2014 年）4 月に「庄内地域の学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた基本方針」を策定しました。庄内地域の課題解消に向けた対応方策は基本方針策定直後から検討しています。小中一貫教育については以前より取り組みを進めており、今後は、小

	中一貫パイロット校を指定して実践を支援しています。また、先程も話にあったワークショップで小中一貫教育に係る意見が出たこともあり、庄内地域の実情に応じた小中一貫教育のあり方の検討を始めました。今回の構想案は今年 2 月に初めてお示しできたもので、それより前に実施された市長選挙の公約の中に本件は記載されていません。今後、教育委員会が中心となって、関係部局等と連携しながら、1 案に絞り、計画を策定することになります。その後、計画を実施するにあたり、条例改正や予算措置を伴いますので、市議会でご審議いただき、決議を得て事業を推進していくことになります。
一校あたりの教職員数は法律で決められているかもしれないが、子どもの人数が多いと目が行き届かない可能性が高い。通学距離についてだが、二葉町から千成小学区まで 2 年生の子どもと歩いてみたが、体力的にしんどかった。例えば庄内西小は残しておいて、千成小と庄内南小を統合する、もしくは学校選択制にすることはできないか。	小規模校の教職員数は、法律で決められている定数だけでは、厳しく、豊中市独自で教職員を複数名加配し、やっと対応できている状況です。一定規模を確保できれば、少人数指導など多様な教育活動が可能になりますが、小規模のままでは課題を解消することはできません。敷地面積や立地条件等を勘案して今日の構想案を提案しました。通学距離そのものはどうすることもできませんが、スクールバス、コミュニティバスについての要望を他の説明会でもいただいています。通学路の安全についてはこれから時間をかけて丁寧に検討していきたいと考えています。学校選択制については考えていません。今回の再編に伴って様々な制約が子ども達、保護者、地域の方々にかかるかもしれませんが、どこかの段階で苦渋の決断をすることになると思います。その際は検討の経緯や、判断に至った理由等を明確にお示した上で、できるだけ多くの方のご理解を得られるよう努力したいと考えています。子ども達のために、より良い教育環境を提供したいと考えておりますので、よろしくお願いします。
この構想案の青写真は描けているのか。	今回は 2 月に実施した説明会と同じ内容で説明しており、構想案として、方向性をお示ししています。保護者や地域の皆さんからの様々なご意見を参考にしながら、検討を重ね、より良い具体的なものにしていきたいと考えています。
私の子どもが昔、小学生だった時、講師の先生が産休の先生の代わりに担任を持った結果、とても荒れてしまったことがあった。しばらくして教諭の先生が来られて、その先生が素晴らしい先生だったので荒れが収まり、子どもは学校に行くのが楽しい、と言うようになった。教育のために尽力されている先生が豊中にはたくさんおられると思うので、その先生方をこれからもより一層支援してほしい。	ご意見として承りました。